



東地申第3号「駅派出所検査体制等の見直しについて」

に関する申し入れ(東京総合車両センター品川派出所)

団体交渉を実施！③

- (会)所属は技術科になる。赤羽と新宿、東京、残りの派出所は従来の保全科になる。教育については保全科。
- (会)勤務については品川派出所は技術科になる。
- (組)時間帯によっては1人対応もある。経験値が浅い方が1人時間の対応をする場合もあるのか。
- (会)1人の対応も想定している。対応できないという場合は、車両センターがバックアップする。ここは従来と変わらない。
- (組)季節性の部分で夏、冬でしかできないことを考慮した上で、社員の配置をする事の認識を一致させたい。
- (会)季節関係なくフォローできるように取り組んでいく。
- (組)季節性において、社員が対応できるか出来ないか把握はしっかりしていただきたい。
- (会)実施していく。
- (組)机上、現車教育が終わっている社員は何名いるのか。
- (会)10月1日スタート段階で出来る社員は26名いる。
- (組)新規担当者か？
- (会)そうだ。
- (組)選考基準は？
- (会)経験者から。
- (組)26名の社員の1か月の勤務の流れは？
- (会)派出所には5徹くらい入っていただきたい。技術科、計画科から入る方は、将来、月1～3徹を考えている。幅広い方に経験して頂きたい。

その②からの続き

確認事項

- ① 教育は保全科が担う。所属が技術科、勤務作成は技術科となる。
- ② 教育は、机上1日、現車で2日、泊まり2徹。基本的に崩さず、教育スケジュールとして計5日間はやる。不安がある社員は教育日数を増やす。派出所経験者は何日が減らす部分もある。新規担当者が不安なく業務できるように教育訓練を行う。

4. 品川派出所勤務者のフレックスパターンについて具体的に示すこと。

会社回答：フレックス制を適用する場合の取扱いについては、就業規則等に則り取り扱うこととなる。なお、品川派出所で勤務する際は、派出所業務に対応できるフレックスパターンを指定することとなる。

- (組)フレックスのパターンは？
- (会)コアタイムのあるフレックスになる。ABCDの4パターン。
- コアタイム Aパターン 13:30分～20:00、Bパターン 6:00～12:30、Cパターン 16:30～23:00、Dパターン 7:00～13:30(すべて休憩1時間を含む)
- フレキシブルタイムは、Aパターン 10:00～13:30、終わり部分 20:00～1:00、Bパターン 12:30～16:30、Cパターン 13:30～16:30、終わり部分 23:00～1:00、Dパターン 5:00～7:00、終わり部分 13:30～17:30
- (組)組み合わせはAB、CDの固定か？

その④へ